

# 地域医療連携室だより Vol 9

H20. 7



平素は、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、地域医療を取り巻く環境は厳しい現状にあります。

“今できること” “今しなければならないこと” を

全病院職員が意識を一つにして取り組んでいます。  
そんな中、懸案となっております医師確保につきましては、徐々に明るい兆しも見えてまいりました。

また、去る6月26日に開催された第3回津島市民病院経営評価委員会においても、「市民病院経営改革行動計画(アクションプラン)」に基づく、平成19年度の取り組みに対し、一定の評価をいただきました。

その席での市長挨拶では「地域医療を守るのは自治体の責務である」との言葉がありました。このことは、「医療の整備なくして、地域の安定や活性化は果たせない」との市長の強い意志が表れたものと考えます。

海部医療圏の二次救急医療を支えることが病院の使命であり、その責務を果たすべく最大限の努力をして応えることが最も重要なことと考えております。

今年度からは、総務省の「公立病院改革ガイドライン」に基づいた改革プランの策定に向けた取り組みを、市と一体となって他の地域に先駆けて進めております。プラン策定に際しては、病診連携・病病連携の在り方も重要な視点となっております。

地域医療の崩壊を押しとどめるためにも、今後とも、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年7月

院長 松崎 安孝

## ■ 人事異動（医師）のお知らせ

お知らせ

- ・ 7月1日採用（1名）  
循環器科医師 河合 秀樹
- ・ 6月30日退職（1名）  
循環器科主任医長 濱口 幸久

※外来受診につきましては、添付しました「外来診療医師一覧表」をご覧ください。

## ■ 地域医療連携室の受付の変更について

紹介いただいた患者さんの利便性を図るため、8月1日から紹介患者さん等の受付を、これまでの19番受付（地域医療連携室）から1番受付（総合受付）に変更いたします。

引き続き、紹介患者さんの受診に際しては配慮してまいります。

## ■ トピックス



### ➤ 出前講座の紹介

当院では、看護局が中心となり「出前講座」を行っています。これは、昨年度に開催されました津島市民病院経営評価委員会においてアドバイスをいただいたことを基に、今年2月から行っており、これまでに3回開催いたしました。その内容としましては、

- ・緩和ケアの紹介
- ・地域医療連携について
- ・市民病院の診療体制と受診の仕方
- ・インファントマッサージについて
- ・後期高齢者の受診時における医療費負担について

などについてお話をさせていただきました。



実際に地域住民の方々とひざを突き合わせて話しをさせていただいたことは、病院職員にとりましても貴重な体験でした。

今後も、ご要望や機会がありましたら病院を飛び出し医療に関する様々なお話をしていきたいと思っております。

なお、この「出前講座」のことは病院ホームページで紹介をしておりますので、ぜひ、ご覧ください。（研修後のアンケート結果も公開しております）

### ➤ 第5回海部津島地域褥瘡勉強会が開催されました

平成20年6月13日（金）市民病院講義室において、第5回海部津島地域褥瘡勉強会が開催されました。

当日の演題と演者は、

- 1 「褥瘡を含む創傷の治癒経過とこれに影響する因子」  
（キズの治り方とそれを妨げるものとは？）

津島市民病院皮膚科部長 竹内 誠

- 2 「経腸栄養剤の種類と投与方法」

津島市民病院栄養管理室副主任管理栄養士 佐藤 知子

当日は、海部津島地域の病院・施設・薬剤師会などから82名の参加者があり熱心に受講されていました。

なお、次回は平成21年2月開催を予定しており、病院ホームページなどでご案内させていただきます。

### ➤ 乳がん検診について

津島市民病院では、今年度8月と9月の毎週水曜日に乳がん検診を行います。



#### 「命とお乳を守るために」

—市政のひろば（平成20年7月1日号より）—

津島市民病院副院長 神谷里明

現在乳癌は日本女性の癌の中で一番多くなっていますし、なお増え続けています。（世界の中ではまだ日本人女性は乳癌にかかる割合は低い方ですが）またそれに伴い、乳癌で亡くなる方も増え続けています。

しかし、欧米においては乳癌になる人は増えているのに、乳癌で亡くなる人は減少してきています。これは乳癌検診の普及（受診率60～70%以上）による早期発見と、抗癌剤など治療法の進歩によるものです。その中でも乳癌検診で治る乳癌が多く見つかるようになったことが大きく影響しています。日本においても乳癌になる人が増えてきたために、乳癌検診が行われるようになりましたが、数年前までは視・触診による検診が大部分で、死亡率の低下につながる早期乳癌の発見には至りませんでした。

そこで、平成16年に乳癌検診を行うのであればマンモグラフィ（乳房専用のX線装置）を併用するように通達が出されました。マンモグラフィを行うことにより触診ではわからない小さな乳癌が発見できるようになるからです。乳癌は大きくなるにつれて転移を起したり、再発したりする危険性が高くなります。できるだけ小さな（転移を起しにくい）乳癌を見つけ、治すのが検診の目的ですので、マンモグラフィ併用検診が有用なのです。

しかし、マンモグラフィは万能ではありません。マンモグラフィに写らない乳癌も存在します。そのために視・触診と組み合わせることにより見逃しを最小限にします。

またマンモグラフィを正確に撮影し、きちんと読影（異常が有るか、無いか判定する）できるよう、器械を整備し、検査技師も修練を積み、医師もトレーニングを積んでいます。まだ日本においてはマンモグラフィ併用乳癌検診を受けているのは対象人口（40才以上の女性）の10%前後に過ぎません。乳癌による死亡を減らすためには、これを欧米並みの70%以上にしなければなりません。

現在乳癌の治療法も変わってきており、早期に見つかった乳癌であれば乳房を全て切除せずに、乳房を残せたり、脇の下のリンパ節の一部をとるだけで治療が可能となっています。自分の乳房と命を守るためにもマンモグラフィ併用乳癌検診をぜひ受けて下さい。全く異常のない人であれば2年に1回の検査で十分です。40才未満の人に対しては公的な検診制度がありません。

しかし、30才を過ぎると乳癌になる危険性は出てきますので、心配な人や血縁に乳癌になったことがある人は私的な検診を受けるか、外科か乳腺科を受診して下さい。

### ▶ 第3回津島市民病院経営評価委員会が開催されました

平成20年6月26日（木）市民病院講義室において、第3回津島市民病院経営評価委員会が開催されました。

この日は、平成19年度病院経営改革行動計画（アクションプラン）の総括が行われました。

今年1月にプランの見直しを行ったことによる成果については、「少し明るい。ぜひともこのまま継続して取り組んでほしい」「ずいぶん良くなってきた。しかし、改革は続けることが大切」などの評価をいただきました。

今後は、「市民病院改革プラン評価委員会」と名称を変え、引き続きご指導をいただくことが確認されました。

## ■ 地域医療連携室から

平成20年6月12日（木）に当院の講義室において「津島市民病院経営改革に関する講演会」が開催されました。

テーマは、「新城市民病院の再建に携わって」

演者は、新城市民病院事務管理監 岡田 斉氏

新城市民病院の再建に向けて取り組まれたことの紹介とその結果等のお話を伺いました。東三河北部医療圏の基幹病院であること、急性期病院であることなど当院と類似している点が多くあり、そんな中で地域医療連携への取り組みは、当院にとりましてとても参考になる内容でした。

地域医療連携の充実・強化に向け今後ともご指導賜りますようお願いいたします。

津島市民病院医療社会事業部 地域医療連携室

Tel 28-5151 内線 2121 . Fax 28-6653

地域医療連携室 加藤・原・山田 、医事課 品川・伊藤・崎本

津島市民病院ホームページアドレス

<http://www.tsushimacity-hp.jp>

# 外来診療医師一覽表

(平成20年7月1日現在)

消化器科・呼吸器科・循環器科  
内分泌科・血液内科・膠原病内科

小児科

産婦人科

		新患			再来(専門外来)			
		2	3	5	10	11	12	15
月	AM	横井 大野	住田 中尾	岡本 血液内科	河合 循環器科	坂野 膠原病内科		
	PM							
火	AM	当番医	若尾	久富 消化器科		大野 循環器科	横井 内分泌科	中尾 呼吸器科
	PM				小林 内科			
水	AM			荒川 消化器科		村松 循環器科	安田 内分泌科	住田 呼吸器科
	PM							
木	AM	当番医	安田	久富 消化器科		大野 循環器科	横井 内分泌科	中尾 呼吸器科
	PM							
金	AM	当番医	小林	荒川 消化器科	河合 循環器科	神谷 循環器科	鈴木 内分泌科	住田 呼吸器科
	PM							

※午後の診療は専門外来の予約のみ診療

		7	8
月	AM	高田 (10:30~)	武田 (8:45~)
	PM	高田 慢性疾患	
火	AM	高田 (10:30~)	
	PM	高田 神経	
水	AM	高田 (10:30~)	
	PM	羽田野 心臓(第1)	
木	AM	高田 (10:30~)	岩山 (8:45~)
	PM	高田 乳児検診	
金	AM	高田 (10:30~)	内木 (8:45~)
	PM		宮津 ワクチン(第2・4) 山田 腎臓(第3)

※毎週火・水の診療開始時間は午前10:30~となります

		8	12
月	AM	柴田	足立
	PM		
火	AM	足立	柴田
	PM		
水	AM	柴田	足立
	PM		
木	AM	真野	足立
	PM		
金	AM	足立	柴田
	PM		

※午後の診療はありません

外科(緩和ケア科含む)

整形外科

脳神経外科

形成外科

放射線科

		12	15	16
月	AM	神谷	川井	石坂
	PM	手術	鍵本 (緩和ケア科)	
火	AM	松崎	松永	朝本
	PM	手術		
水	AM	山中	鬼頭	石坂
	PM	手術	鍵本 (緩和ケア科)	
木	AM	松崎	神谷	川井
	PM	手術		
金	AM	鬼頭	松永	山中
	PM	手術	鍵本 (緩和ケア科)	

		1	3
月	AM	柴田	花林
	PM	手術	
火	AM	花林	柴田
	PM	ギプス・検査	
水	AM	柴田	洪
	PM	手術	
木	AM	洪	花林
	PM	検査	
金	AM	柴田	洪
	PM	手術・ギプス	

		8	10
月	AM	奥村	辻
	PM		
火	AM	近藤	
	PM		
水	AM	奥村	
	PM		
木	AM	松下 荻野 (サイバーナイ)	
	PM		
金	AM	村上	辻
	PM		

		6
月	AM	宮本
	PM	
火	AM	大住
	PM	
水	AM	宮本
	PM	
木	AM	宮本
	PM	
金	AM	大住
	PM	

		2
月	AM	鈴木
	PM	
火	AM	霜出
	PM	
水	AM	鈴木
	PM	
木	AM	霜出
	PM	
金	AM	鈴木
	PM	

※月・水・金曜午後診療の緩和ケア科外来は完全予約制  
※ストーマ外来 月・金曜日の午前中

皮膚科

泌尿器科

眼科

耳鼻咽喉科

歯科口腔外科

		1	2
月	AM	竹内	佐々木
	PM	竹内	
火	AM	竹内	
	PM		
水	AM	竹内	
	PM		
木	AM	竹内	田中
	PM	手術	
金	AM	竹内	上田(第2)
	PM	竹内	

		7
月	AM	黒川
	PM	
火	AM	
	PM	
水	AM	
	PM	
木	AM	黒川
	PM	
金	AM	
	PM	

		2	3
月	AM	福島	谷
	PM	手術	
火	AM	福島	谷
	PM	外来・手術・ 検査	谷
水	AM	福島	谷
	PM	大矢 (不定期)	外来・手術・ 検査
木	AM	福島	谷
	PM	大矢 (不定期)	手術
金	AM	福島	谷
	PM	福島	外来・手術・ 検査

		2	3	5
月	AM	杉坂	日比	
	PM	不定午後診		
火	AM	杉坂	日比	
	PM	手術		
水	AM	杉坂	日比	
	PM	検査		
木	AM	杉坂	日比	
	PM	不定午後診		
金	AM	工藤	日比 杉坂	杉坂 日比
	PM	手術		

		3	3	3
月	AM	水野	宇佐見	
	PM	外来小手術	岡崎	
火	AM	手術(水野・宇佐見)		井上
	PM	顎変形症		
水	AM	水野	宇佐見	
	PM	外来小手術		
木	AM	水野	宇佐見	板谷
	PM	インプラント		
金	AM	水野	宇佐見	間瀬
	PM	外来小手術		

※午後の診療は  
PM2:00~3:00です

●診療科別月別紹介・逆紹介

診療科	年月	小計(4月～9月)			小計(10月～3月)			合計		
		紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差
01 内科		188	52	136	180	66	114	368	118	250
02 神経内科		17	518	-501	0	2	-2	17	520	-503
03 呼吸器科		234	162	72	228	167	61	462	329	133
04 消化器科		304	153	151	244	137	107	548	290	258
05 循環器科		201	308	-107	195	329	-134	396	637	-241
06 血液内科		14	15	-1	15	10	5	29	25	4
07 内分泌科		133	262	-129	145	208	-63	278	470	-192
08 小児科		193	55	138	115	28	87	308	83	225
09 外科		370	166	204	359	135	224	729	301	428
10 形成外科		53	15	38	60	12	48	113	27	86
11 整形外科		161	228	-67	212	255	-43	373	483	-110
12 脳神経外科		214	195	19	229	247	-18	443	442	1
13 皮膚科		100	50	50	103	62	41	203	112	91
14 泌尿器科		71	607	-536	12	42	-30	83	649	-566
15 産婦人科		93	71	22	94	81	13	187	152	35
16 眼科		121	121	0	123	104	19	244	225	19
17 耳鼻咽喉科		237	133	104	211	129	82	448	262	186
18 放射線科		685	690	-5	699	693	6	1,384	1,383	1
19 歯科口腔外科		321	120	201	372	189	183	693	309	384
20 リハ科		2	30	-28	15	27	-12	17	57	-40
合計		3712	3951	-239	3611	2923	688	7,323	6,874	449
(紹介+逆紹介)				7,663			6,534			14,197

※赤字は「紹介-逆紹介」がマイナスの場合  
 ※緩和ケア外来は外科に含まれています。

上半期は、神経内科・泌尿器科の診療体制縮小に伴い逆紹介件数が増。

●地区別月別紹介・逆紹介

診療科	年月	小計(4月～9月)			小計(10月～3月)			合計		
		紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差
1班(愛西市)		596	535	61	624	439	185	1,220	974	246
2班(海部東部)		479	435	44	490	378	112	969	813	156
3班(弥富・飛鳥)		73	398	-325	77	162	-85	150	560	-410
4班(蟹江町)		57	45	12	47	40	7	104	85	19
津島市		1848	1577	271	1792	1201	591	3,640	2,778	862
名古屋市		296	485	-189	274	376	-102	570	861	-291
その他(県内)		253	384	-131	217	237	-20	470	621	-151
県外		110	92	18	90	90	0	200	182	18
合計		3712	3951	-239	3611	2923	688	7,323	6,874	449

3班への逆紹介先のほとんどは海南病院で、特に上半期の4月・6月がピークであった。

●診療科別地区別紹介・逆紹介

診療科	地区	1班(愛西市)			2班(海部東部)			3班(弥富・飛鳥)			4班(蟹江町)			津島市			名古屋市			その他(県内)			県外			計		
		紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差	紹介	逆紹介	差
01 内科		46	13	33	49	7	42	4	20	-16	4	4	0	193	35	158	43	25	18	19	12	7	10	2	8	368	118	250
02 神経内科		4	65	-61		47	-47	1	109	-108		2		12	188			68			36			5		17	520	-503
03 呼吸器科		55	27	28	47	24	23	9	23	-14	2	3	-1	265	118	147	40	54	-14	38	74	-36	6	6	0	462	329	133
04 消化器科		58	26	32	52	25	27	10	22	-12	4	2	2	330	110	220	44	71	-27	35	26	9	15	8	7	548	290	258
05 循環器科		50	77	-27	45	52	-7	16	44	-28	5	9	-4	187	230	-43	46	128	-82	37	89	-52	10	8	2	396	637	-241
06 血液内科		6	3	3	2	1	1	1	1	1			0	9	4	5	5	12	-7	5	5	0	1	1	1	29	25	4
07 内分泌科		41	82	-41	37	67	-30	11	43	-32	3	3	0	131	172	-41	31	55	-24	19	40	-21	5	8	-3	278	470	-192
08 小児科		122	23	99	46	3	43	5	6	-1	3		3	92	7	85	21	24	-3	17	10	7	2	10	-8	308	83	225
09 外科		81	33	48	59	22	37	15	33	-18	6	2	4	386	114	272	105	50	55	51	29	22	26	18	8	729	301	428
10 形成外科		6	2	4	16	3	13	3	3	0	2		2	73	12	61	4	4	0	5	1	4	4	2	2	113	27	86
11 整形外科		52	51	1	40	61	-21	18	26	-8	4	10	-6	171	195	-24	26	71	-45	34	34	0	28	35	-7	373	483	-110
12 脳神経外科		44	45	-1	75	44	31	12	29	-17	1	3	-2	166	167	-1	28	42	-14	86	81	5	31	31	0	443	442	1
13 皮膚科		43	5	38	35	12	23	3	3	0	1	1	0	97	58	39	9	16	-7	13	14	-1	2	3	-1	203	112	91
14 泌尿器科		7	51	-44	12	47	-35	10	143	-133		2	-2	32	260	-228	15	66	-51	6	70	-64	1	10	-9	83	649	-566
15 産婦人科		19	6	13	20	11	9	3	14	-11		1	-1	49	55	-6	36	35	1	26	17	9	34	13	21	187	152	35
16 眼科		22	13	9	11	6	5	2	11	-9	26	15	11	141	141	0	23	21	2	16	16	0	3	2	1	244	225	19
17 耳鼻咽喉科		58	21	37	52	22	30	4	13	-9	3	4	-1	280	120	160	23	46	-23	19	25	-6	9	11	-2	448	262	186
18 放射線科		383	377	6	312	318	-6		2	-2	1	1	0	614	615	-1	42	40	2	30	28	2	2	2	0	1,384	1,383	1
19 歯科口腔外科		123	52	71	55	34	21	22	14	8	38	21	17	412	152	260	21	26	-5	14	6	8	8	4	4	693	309	384
20 リハ科		2	30	-28	4	7	-3	1	2	-1	1	2	-1		25	-25	8	7	1		8	-8	3	4	-1	17	57	-40
総計		1,220	974	246	969	813	156	150	560	-410	104	85	19	3,640	2,778	862	570	861	-291	470	621	-151	200	182	18	7,323	6,874	449

※各班などの特徴  
 (1班) 小児科、歯科口腔外科への紹介が多い。  
 (3班) 神経内科・泌尿器からの逆紹介が100件超。  
 (4班) 歯科口腔外科、眼科への紹介・逆紹介が多い。  
 (名古屋市・その他県内) 循環器科からの逆紹介が最も多い。  
 (県外) 紹介の最多は産婦人科。逆紹介の最多は整形外科。

●地区別紹介・逆紹介状況

	紹介	占有率 (シェア)	逆紹介						差 (紹介-逆紹介)
			Iターン	(シェア)	Uターン	(シェア)	Iターン +Uターン	(シェア)	
1班(愛西市)	1,220	16.7%	437	10.7%	537	19.3%	974	14.2%	246
2班(海部東部)	969	13.2%	369	9.0%	444	15.9%	813	11.8%	156
3班(弥富・飛鳥)	150	2.0%	535	13.1%	25	0.9%	560	8.1%	-410
4班(蟹江町)	104	1.4%	48	1.2%	37	1.3%	85	1.2%	19
津島市	3,640	49.7%	1,298	31.7%	1,480	53.2%	2,778	40.4%	862
名古屋市	570	7.8%	756	18.5%	105	3.8%	861	12.5%	-291
その他(県内)	470	6.4%	498	12.2%	123	4.4%	621	9.0%	-151
県外	200	2.7%	149	3.6%	33	1.2%	182	2.6%	18
計	7,323	100.0%	4,090	100.0%	2,784	100.0%	6,874	100.0%	449

逆紹介超過は、「Iターン」が多いのが要因。  
 地域別でIターンの多い医療機関をみると、「3班」については海南病院(498件)がほとんどを占めている。「名古屋市」については名古屋第一赤十字病院(301件)、名大医学部付属病院(55件)、県がんセンター中央病院(48件)が上位。(Uターンの全件 2,784件中1,346件 48.3%)  
 「その他(県内)」については厚生連尾西病院(79件)、六輪病院(61件)、大雄会病院(58件)となっている。  
 紹介およびUターンのほぼ過半数が津島市。

※「Iターン」とは、津島市民病院が各医療機関へ患者さんを紹介する場合をいいます。(市民病院→他医療機関)  
 また、「Uターン」は各医療機関から津島市民病院に紹介してもらった患者さんを再び元の医療機関に紹介しなおす場合をいい、放射線科の検査紹介もUターンに含まれます。(他医療機関→市民病院→元の医療機関)  
 Uターンの場合、統計上は紹介に1件、逆紹介(Uターン)に1件カウントされます。

●医療機関及び施設別紹介・逆紹介状況(上位のみ)

紹介	逆紹介(Iターン)	逆紹介(Uターン)
こじま整形外科クリニック	291	498
加藤医院	212	301
杉山クリニック	199	107
たご耳鼻咽喉科	179	92
はせ川外科	158	79
篠田内科	146	68
フジノ内科	134	62
すぎのクリニック	133	61
奥村クリニック	124	58
八木外科医院	124	55
	名大医学部付属病院	55

海南病院への逆紹介(Iターン)が非常に多い。(神経内科109件、泌尿器科130件)  
 逆紹介(Uターン)の内容としては放射線科(検査連携)が多い。

●地区別・医療機関及び施設別紹介、逆紹介状況(上位のみ)

	1班(愛西市)	2班(海部東部)	3班(弥富・飛鳥)	4班(蟹江町)	津島市	名古屋市	その他(県内)	県外
紹介	こじま整形外科クリニック	291	フジノ内科	134	愛知県厚生連海南病院	117	眼科尾関クリニック	16
	加藤クリニック	97	浅井外科	70	偕行会リハビリテーション病院	6	介護老人保健施設セヌ蟹江	14
	まえだこどもクリニック	83	望月内科	70	たなか整形外科リウマチクリニック	3	月星歯科クリニック	10
	倉下内科	78	公立尾陽病院	64	ひらさわ矯正歯科	8	はせ川外科	158
	服部内科診療所	65	しげやす内科クリニック	55	かとうクリニック	7	篠田内科	146
逆紹介(Iターン)	羽賀内科	32	七宝病院	40	愛知県厚生連海南病院	498	いそべクリニック	6
	おづクリニック	32	フジノ内科	25	服部整形外科皮膚科	9	尾張温泉リハビリかえ病院	6
	加藤クリニック	28	やまぎしクリニック	24	高村メディカルクリニック	9	月星歯科クリニック	4
	倉下内科	24	横井ことぶきクリニック	20	そぶえ整形外科	4	上田医院	3
	こじま整形外科クリニック	23	吉岡外科	14	偕行会リハビリテーション病院	4	津島中央病院	54
逆紹介(Uターン)	こじま整形外科クリニック	266	フジノ内科	112	愛知県厚生連海南病院	17	介護老人保健施設セヌ蟹江	11
	加藤クリニック	40	浅井外科	48	月星歯科クリニック	8	杉山クリニック	118
	後藤クリニック	36	やまぎしクリニック	37	眼科尾関クリニック	7	はせ川外科	94
	倉下内科	19	望月内科	36	ひらさわ矯正歯科	4	たご耳鼻咽喉科	85
	服部内科診療所	18	吉岡外科	31	奥村クリニック	80	奥村クリニック	80

●入院患者数及び外来患者数

区分	平成19年度		平成18年度		前年対比	
	患者延数	一日平均	患者延数	一日平均	増減	比率(%)
入院	99,281	271	117,388	322	-18,107	84.6
外来	178,069	727	221,143	903	-43,074	80.5
計	277,350	998	338,531	1,225	-61,181	81.9

●病床利用状況

区分	一般
許可病床数	440床
稼働病床数	392床
患者延数	99,281人
一日平均数	271人
許可病床利用率	61.7%
稼働病床利用率	67.2%

※稼働病床数については、6月末まで440床、7月以降392床

●医師内訳(平成20年7月1日現在)

科名	人数
消化器科	2
循環器科	2
呼吸器科	2
内分泌科	1
内科	1
小児科	1
外科	8
整形外科	3
脳神経外科	3
形成外科	2
皮膚科	1
産婦人科	2
眼科	2
耳鼻咽喉科	2
放射線科	3
麻酔科	1
歯科口腔外科	2
健康管理センター	1
リハビリテーション科	1
緩和ケア科	1
臨床研修医	8
計	49